

おらほの 納税教室

そろそろ確定申告手続き、住民税申告手続きの準備を始めましょう!!

内 容	確 定 申 告 手 続 き
	毎年1月1日から12月31日までの1年間に生じた全ての所得の金額と、それに対する所得税および復興特別所得税の額を計算し、申告期限までに確定申告書を提出して、源泉徴収された税金や予定納税で納めた税金などとの過不足を精算する手続きです。
内 容	住 民 税 申 告 手 続 き
	毎年1月1日から12月31日までの1年間に生じた全ての所得の金額と、それに対する翌年度の住民税額を計算するために町に申告する手続きです。 原則として、 <u>1月1日時点で南三陸町に住民登録がある人全員が対象になります。</u> ただし、 <u>次に該当する人は住民税申告手続きをする必要がありません。</u> ・給与収入のみで、勤務先で年末調整が済んでいて、他に所得がない人 ・税務署に確定申告書を提出した人 ・公的年金収入のみで、源泉徴収票に記載されている控除に変更がない人 ※前年中に収入がなかった人は、町に「収入のない旨の届出書兼扶養控除の申出書」の提出が必要です。
期 間	毎年2月16日～3月15日
必要書類	・前年中の収入金額が分かるもの（源泉徴収票、事業収入がある場合は収支内訳書など） ・各種控除証明書類（社会保険料／生命保険料／地震保険料／医療費／障害者手帳など） ・被扶養者の所得金額が分かるもの（源泉徴収票など） ・マイナンバーカード（本人確認書類の提示または写しの添付が必要なため） ※マイナンバーカードがない場合は、①番号確認書類、②本人確認書類が必要となります。 ・本人名義の預貯金通帳など（還付または納付の際に口座情報が分かるもの）

前年中に収入がない人も申告が必要です！

前年中に収入が全くなかった人や、非課税所得（遺族年金、障害年金、失業保険など）のみの人、家族などに扶養されている人も住民税の申告が必要です。

申告がなされると、町では収入や所得の情報が分からないため、翌年度分の所得証明書や非課税証明書などの発行ができません。また、「非課税者」として扱うことができないため、国民健康保険税の軽減が受けられない、介護保険料などの所得判定が正しく行えない、各種手当などの支給が止まってしまうなど、所得情報が必要となる制度において正しい取り扱いができなくなる場合があります。

各種保険料(税)の
軽減が受けられない



税証明書の交付が
受けられない

※「収入のない人」「非課税所得のみの人」に該当する場合は、毎年1月に町から送付される冊子「町県民税申告の手引」内の「収入のない旨の届出書兼扶養控除の申出書」を次のいずれかの方法により忘れずに提出してください。

- ①世帯のどなたかが町の申告会場で申告される場合→町申告会場での提出
- ②町の申告会場で申告する世帯員がいない場合→役場町民税務課または歌津総合支所に直接提出
- ③「南三陸町役場町民税務課」宛てに郵送で提出

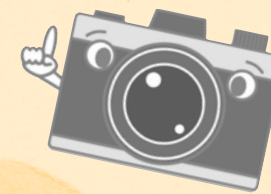
* 今月の税・保険料 *

納め忘れのないよう、早めに準備しましょう！

町県民税……………第3期
国民健康保険税……………第5期
介護保険料……………第4期
後期高齢者医療保険料…第4期

納付期限
10月31日(木)

口座振替日
10月25日(金)



みな
レポ

令和6年度戦没者追悼式が 挙行されました

8月24日(土)、南三陸町総合体育館において令和6年度戦没者追悼式を挙行了しました。今年は昨年度に引き続き式典方式で実施され、多数のご遺族が参列し、戦争で亡くなった848名のご冥福を祈りました。

戦没者遺族会長は「両親に愛されながら暮らすのは当たり前の権利。これからも遺族会の皆さまと平和を訴えたい」と追悼の辞を述べました。



百寿のお祝い 首藤あや子さん(㊤二区)



9月2日(月)に百寿を迎えた首藤あや子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。あや子さんは、好き嫌いせず何でも食べるそうで、特に銀鮭が大好きだそうです。

昔から旅行が好きでさまざまな場所を訪れていたあや子さん。

ご家族にご長寿の秘訣を聞くと、普段からよく歩くことだと話してくれました。

お子さんが3人、お孫さんが12人、いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

あや子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

～ふるさとの記憶を今に伝える証～

8月24日(土)、道の駅「さんさん南三陸」特設会場第2回南三陸かがり火祭りが開催されました。

自分で組み立ててメッセージを書き込むことができる灯ろうには、先祖供養や日頃の感謝などのさまざまな想いが込められていました。

祭り会場では、飲食店の出店が軒を連ね、護岸にはかがり火が並び、特設ステージでは郷土芸能などが披露されました。

会場では、日暮れとともに多くの灯ろうが八幡川を彩りました。

